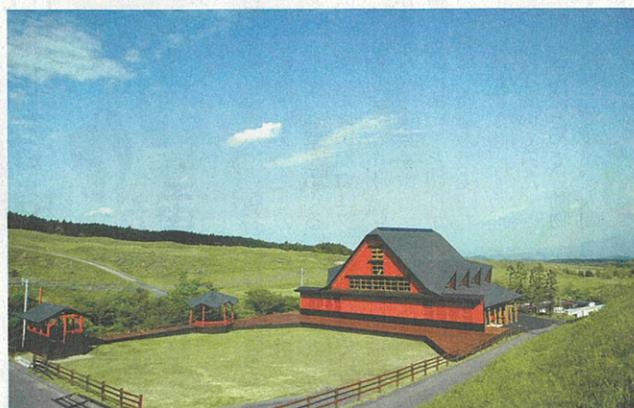




2016年(平成28年)5月23日 月曜日 (第3種郵便物認可)

重の
め沖縄備部隊の編成が
佐世保
面
鹿児島
竹田市とも縁が深いが、積み重ねたものが
終戦の日、一方所に集め
一
い。私たちはまな板の上の
株式の過半数をジユビタード。その他の
要じられる。「能の美 塩津は熊本市出身。
ふと梅が香るような舞
河原成美氏だ。忙しい合間
を縫つて駆けつけた彼に応
えながら、15分間のサグラ
メント社長 藤高郁夫)

TAOが描く 日本の夢 NY公演を終えて ⑩



2009年4月、TAOの里に完成した稽古場兼野外劇場の「赤兜」

芸能

「日本の伝統の底力を感じた」

今は力で、重厚さで弟子が多く、発生時はなく柔らかさを出し、安否に心を碎いた。しかし5月に東京で開いた発表会には益城町の被災地にも加。こんな大変な時で

初めて本格的な全国ツアーリーを実施した2009年、久住でも大きな計画が姿を現した。世界的建築家の丸山欣也氏によつて、TAOの里の象徴的な施設である「赤兜」が建設されたのだ。良質の音環境を備えつゝ、大きな舞台道具を入れた状態での練習が実現できる、豊かな稽古場が完成した。それと同時に、この大自

象徴的施設「赤兜」が完成

然の広がるTAOの拠点でお客様が一日中TAOを楽しんでもらえるイベントを構想した。このように公演会場では舞台の準備などで忙しくファンとの交流がなくなつており、そんな機会をいつかどこかで、と思っていた。早速丸山先生も「面白い」と計画を進行してくれ、稽古場の開口部の前にテラスステージを接続し、そのステージは1500人をも収容できる芝地を囲む構造になつた。扉を開けると稽古場が野外劇場と化す、非常に面白いステージが出来上がつた。これが毎夏開催している、TAOの夏フェスのスタートだ。

この建物の名前の由来については、朱塗りの兜とい

う見た目そのものにちなんだ。丸山先生から「デザインが上がってきたとき、正直に「これは」と思った。しかし兜とは子どもの節句でよく見るよう、子どもの成長を願い、邪氣から守つてくれる象徴である。この建物がTAOを成長させ、守ってくれたら。そんな願いを込めた。

落成式には関係者約50人を招待した。参加者の誰もが、その大自然の中で堂々とした赤兜の存在感に圧倒され驚いた。

この会に一日遅れで、TAOの里を訪れた人が一人となる方一風堂の創業者河原成美氏だ。忙しい合間に縫つて駆けつけた彼に応へるべく、15分間のサグラメント社長 藤高郁夫)

中尾本司への出走命令

にを

要請

www.oita-press.co.jp
5/23
月曜日

大分合同新聞

夕刊

創刊1886年(明治19年)
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
© 大分合同新聞社 2016
大分 097-536-2121 別府 0977-22-2121
FAX 097-538-9674 FAX 0977-25-1230
朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

大分合同新聞 Gate
プレミアムオンライン ゲート

「注目まとめ」コーナー
でこれまでの「熊本・大分地震」の記事も読みます。

②ダル、メジャー復帰へ



①健康寿命なぜ長い?

OCTが業界最大手傘下に。人口減少見据え決断。利用者目線だと、大きいことはいいことかな。
謝罪は求めない。
オバマ氏の広島訪問実現を優先する被爆者。核のない、世界の平和を希求して。

転勤で、体を寄りが多
タ。決定的切
精神力な
姫島は